

国際シンポジウム「雨と共生する水辺都市の再生」

地球温暖化が現実のものとして進行し始めた今日、危惧されていた兆候のひとつである雨の降り方が変わってきています。極端な少雨や多雨は日本のみならず、今や世界中で起きている現象です。世界の多くの都市は水辺に立地しており、人間の生活の営みに伴う水辺開発の進行やゼロメートル地帯の増加など、多くの不安を抱えています。

集中豪雨や大型台風による災害は雨によってもたらされる直接的な被害であり、今後の海面上昇や気候変動とも連動してさらに危険性が高まるおそれがあります。一方で、雨は古来より人間の命を支える飲料水の源でもあります。災害時に生活用水を確保する際にも雨水は貴重であり、そのためには日常的に雨水利用を図るとともに、積極的に雨水をコントロールする必要があります。

地球環境時代の住まい方として、私たちは雨とどのように付き合い合えばよいのでしょうか。雨と如何に上手に共生するかが今日の重要な課題となっています。この課題への取り組みは、市民一人一人の日常生活に関わる問題であると同時に、都市における住まい方を根本的に見直し、水辺の都市を再生してゆく手がかりになるともいえます。

本シンポジウムは、都市をエコロジカルに再生する鍵を握る「雨」に視点を定め、国際的な知恵を集めて新しい時代のための提案を探ることを主眼としています。

日時：2005年11月26日（土）～27日（日）

会場：26日 日本建築会館301会議室 13:00～18:00

27日 法政大学市ヶ谷本校ポアソナードタワー26階スカイホール 13:00～17:00

主催：法政大学エコ地域デザイン研究所及び日本建築学会水環境運営委員会

後援予定：日本土木学会、日本都市計画学会、日本造園学会、国土交通省、気象庁、東京都、気象キャスターネットワーク、雨水市民の会、fbr、水みち研究会 他

申し込み・定員：第1部 11月26日 50名

第2部 11月27日 150名

申し込み先：法政大学エコ地域デザイン研究所・水辺再生シンポジウム事務局(神谷)

E-mail: suikei@mbd.sphere.ne.jp Fax: 03-6822-5981

締め切り：定員になり次第締め切りといたします。

第1部：「雨と人・各国の暮らし今昔」11月26日（土）13:00～17:00

主催者挨拶：浅野良晴（信州大学教授・建築学会水環境運営委員会主査）

司会進行：笠 真希（早稲田大学講師）

1．話題提供（13:10～14:50）

「タイにおける雨の恵み」岩城信考（タイ・チュラロンコン大学）

「ドイツにおける雨の生かし方」クラウド・ケーニッヒ（fbr 副会長）

* fbr：雨水中水利用専門家協会

「韓国における雨水利用の歴史」ムーヨング・ハン（ソウル大学教授）

「日本における雨と暮らし」鈴木信宏（東京理科大学教授）

2. 講演 (15:00~16:00)
「歴史を変えた気候大変動」ブライアン・フェイガン
(カリフォルニア大学名誉教授)
3. パネルディスカッション「雨と共に暮らすには」(16:10~17:40)
コーディネーター：井上洋司(早稲田大学講師)
「住宅で活かす雨水」黒岩哲彦(日本建築学会水環境運営委員)
「雨でお洗濯」早坂悦子(東京洗剤プロジェクト)
「都市の雨水を飲むには」太田原茂樹(東洋紡エンジニアリング主幹)
「雨の環境教育」原田龍彦(気象キャスターネットワーク)
4. 懇親会 18:00~20:00

* 第1部「雨と人・各国の暮らし今昔」の趣旨：生活において雨との関わりが今も変わらず大事なということを確認して、雨を生かす小さな知恵を集めることを呼びかけます。

第2部：「雨と人・その恵みと災い」11月27日(日)10:00~17:00

主催者挨拶：出口清孝(法政大学教授・エコ地域デザイン研究所副所長)

司会進行：岡村晶義(法政大学講師)

1. 研究報告「日本に降る雨の質と量」(10:10~11:50)
「増加する集中豪雨と治水」佐藤寿延(国土交通省河川局)
「首都圏の大気構造の変化」佐藤典人(法政大学教授)+永保敏伸(法政大学助手)
「酸性雨の広がり」伊瀬洋昭(酸性雨調査研究会)
「雨の中の微生物」矢口行雄(東京農業大学教授)
 2. 講演「雨と災害」(13:00~15:00)
「巨大ハリケーンとミシシッピー川」ブライアン・フェイガン
(カリフォルニア大学名誉教授)
「スマトラ沖津波と飲料水の確保」スワタナ・タダニティ
(チュラロンコン大学助教授)
 3. パネルディスカッション「雨と共生する水辺都市の再生」(15:10~17:00)
コーディネーター：神谷 博(法政大学講師)
「バンガラディッシュのスカイウォータープロジェクト」村瀬 誠(雨水市民の会)
「雨水利用とエコロジカルな都市づくり」クラウス・ケーニッヒ(fbr 副会長)
「雨水法で改革する韓国の都市づくり」ムーヨング・ハン(ソウル大学教授)
「水辺都市東京の住まい方」宮村 忠(関東学院大学教授)
コメンテーター：スワタナ・タダニティ
ブライアン・フェイガン
- 主催者挨拶：陣内秀信(法政大学教授・法政大学教授、エコ地域デザイン研究所所長)

* 第2部「雨と人・その恵みと災い」の趣旨：都市において雨がもたらす災害の危険性を正しく把握し、雨の恵みを得られるような都市づくりのあり方を提案いたします。